

令和4年度 診療情報管理科 3年

教 育 課 程 表

授 業 計 画

学校法人 実教学園

F■C フチガミ医療福祉専門学校

診療情報管理科 3年

令和4年度

科目名	時間数	単位数
診療情報管理論Ⅲ(DPC・医師事務・がん登録の実務)	30	2
医療統計Ⅱ(病院統計・疾病統計)	20	1
サマリー演習	10	
認定試験対策基礎科目編Ⅱ	150	10
認定試験対策専門科目編	210	14
データベース応用	60	4
エクセルVBAⅡ	30	2
医療情報技師受験対策(医学)	30	2
医療情報技師受験対策(システム)	30	2
医療情報技師受験対策(情報処理)	30	2
医師事務作業補助	30	2
がん登録検定対策	30	2
学会発表Ⅱ	20	1
就職指導	60	2
キャリア教育Ⅲ	30	2
センスアップ講座	4	
併修指導	[30]	
病院実習(専門実習)	160	4
必修科目 計	934	52
選択科目 計	30	0
合 計	964	52

科目名	診療情報管理Ⅲ	担当者	皆元 麻里加	ク ラ ス	期 別
				3IM	前期

1. 教育目標

- ・DPC制度やがん登録制度について正しく理解し、診療情報管理士が行う実務について理解する。
- ・医師事務作業補助体制加算について学び、診療情報管理士と医師事務作業補助者とのかかわりを理解する。

2. 授業内容

- ・DPC制度について学び、DPCコーディング、DPC様式1の監査の方法やDPC提出データの活用方法について学ぶ。
- ・医師事務作業補助体制加算や実務の実際を学び、診療情報管理士との関わりを学ぶ。
- ・がん登録に関連する法律を学び、がん登録の登録方法について学ぶ。

3. 授業計画

1	DPCと診療情報管理士(診療情報管理部門)との関わり
2	影響調査(基礎調査)と診療情報管理士
3	DPCと影響調査(基礎調査)
4	DPCと影響調査(基礎調査)
5	DPCと影響調査(基礎調査)
6	病院情報の公表と診療情報管理士
7	データの精度と診療情報管理士
8	DPCデータの活用
9	DPCデータの活用
10	医師事務作業補助者の業務と体制
11	医師事務作業補助者と診療情報管理士の関わりについて
12	我が国のがん対策とがん登録
13	がん登録
14	がん登録
15	試験解説

4. 評価方法

試験70%、授業態度および出席率30%

5. テキスト及び参考書

- (1) テキスト：診療情報管理Ⅲ 専門課程編 10章
- (2) 疾病、傷害および死因統計分類提要、ICD-10（2013年版）： 第1巻(内容例示表)、第3巻(索引表)

6. 実務経験の有無

☒ あり (経歴 : 診療情報管理士として病院勤務)

7. その他

- (1) テキストを中心に学習するが、不足分については資料を準備する。
- (2) 必要に応じて小テストを行なう。

科目名	医療統計Ⅱ (病院統計・疾病統計)	担当者	吉野 博	クラス	期 別
				3IM	前期

1. 教育目標

医療統計において、具体的に求められる成果としてのグラフについて解説し、診療情報管理士が病院統計および疾病統計の知識を身につけること目的とする。また、倫理研究の主な手法を学ぶとともに、テクニカルな面だけでなく、研究を行うにあたっての倫理的な側面も学ぶ。

2. 授業内容

情報化の手段として基本的なグラフ表現と実際に求められる病院統計の手法を解説する。また、データを扱う上での研究方法や倫理を教える。

3. 授業計画

1	データのグラフ表現
	データの視覚化
	各種のグラフ化とその用途
2	病院の統計資料
	病院統計の作成とその意義
	主な統計調査と評価指標
	主な医療評価指標
	経営管理指標
3	臨床研究の主な手法
	研究手法

4. 評価方法

試験 70%

小テスト 15%

平常点数 15%

5. テキスト及び参考書

診療情報管理士テキスト 診療情報管理Ⅲ

6. 実務経験の有無

☒ あり (経歴：診療情報管理士として病院勤務)

7. その他

科目名	サマリー演習	担当者	松浦 はるみ	ク ラ ス	期 別
				3IM	前期

1. 教育目標

診療情報管理における退院時要約（サマリー）の内容理解。

2. 授業内容

退院時要約におけるルールの考え方

3. 授業計画

1	国際統計分類	神経・呼吸器・筋骨格・腎泌尿器サマリー
2	国際統計分類	循環器・消化器サマリー
3	国際統計分類	妊娠・分娩・周産期サマリー
4	国際統計分類	新生物サマリー
5	国際統計分類	損傷・外因サマリー

4. 評価方法

試験結果

5. テキスト及び参考書

教科書及び教科書に準ずる資料（スライド）

6. 実務経験の有無

☒ あり （ 経歴 ：くまもと県北病院15年・長崎大学病院5年 ）

7. その他

科目名	認定試験対策 基礎科目編Ⅱ	担当者	片岡 彩子	ク ラ ス	期 別
				3IM	前期

1. 教育目標

診療情報管理士試験に向けて医学全般について理解する。
医療現場で働く診療情報管理士として、基本的な医学の知識を習得し、日々取り扱う診療に関する記録を正確、迅速に処理できるようになることを目標とする。

2. 授業内容

3章では疾患の種類や医学的検査、各種治療法、先天性疾患、外傷や中毒などについて学び、4章以降では各疾患の症状や検査、治療について学習する。

3. 授業計画

1	第3章 臨床医学総論（疾患の種類、各種医学的検査、治療法）
2	第3章 臨床医学総論（先天性疾患）
3	第3章 臨床医学総論（外傷、中毒）
4	第4章 臨床医学各論Ⅰ（感染症・寄生虫等）
5	第4章 臨床医学各論Ⅰ（感染症・寄生虫等）
6	第5章 臨床医学各論Ⅱ（新生物）
7	第5章 臨床医学各論Ⅱ（新生物）
8	第6章 臨床医学各論Ⅲ（血液疾患）
9	第6章 臨床医学各論Ⅲ（内分泌疾患）
10	第6章 臨床医学各論Ⅲ（代謝異常）
11	第7章 臨床医学各論Ⅳ（精神障害）
12	第7章 臨床医学各論Ⅳ（神経疾患）
13	第7章 臨床医学各論Ⅳ（眼・耳疾患）
14	前期定期試験
15	定期試験の解説

4. 評価方法

- ・定期試験 70%
- ・提出物、小テスト 30%

5. テキスト及び参考書

診療情報管理士Ⅰ 基礎・医学編 日本病院会テキスト

6. 実務経験の有無

☐ あり （ 資格・職種 : ）

7. その他

科目名	認定試験対策 基礎科目編Ⅱ	担当者	片岡 彩子	クラス	期 別
				3IM	後期

1. 教育目標

診療情報管理士試験に向けて医学全般について理解する。

医療現場で働く診療情報管理士として、基本的な医学の知識を習得し、日々取り扱う診療に関する記録を正確、迅速に処理できるようになることを目標とする。

2. 授業内容

各疾患の症状や検査、治療について学習し、主要な医学用語(英語)を覚える。

3. 授業計画

1	第8章 臨床医学各論Ⅴ (循環器疾患)
2	第8章 臨床医学各論Ⅴ (循環器疾患)
3	第8章 臨床医学各論Ⅴ (呼吸器疾患)
4	第8章 臨床医学各論Ⅴ (呼吸器疾患)
5	第9章 臨床医学各論Ⅵ (消化管疾患)
6	第9章 臨床医学各論Ⅵ (肝胆膵疾患)
7	第9章 臨床医学各論Ⅵ (泌尿器疾患)
8	第10章 臨床医学各論Ⅶ (周産期系)
9	第10章 臨床医学各論Ⅶ (周産期系)
10	第10章 臨床医学各論Ⅶ (周産期系)
11	第11章 臨床医学各論Ⅷ (皮膚疾患)
12	第11章 臨床医学各論Ⅷ (筋・骨格系疾患)
13	第11章 臨床医学各論Ⅷ (筋・骨格系疾患)
14	後期定期試験
15	定期試験の解説

4. 評価方法

- ・定期試験 70%
- ・提出物、小テスト 30%

5. テキスト及び参考書

診療情報管理士Ⅰ 基礎・医学編 日本病院会テキスト

6. 実務経験の有無

☐ あり (資格・職種 :)

7. その他

科目名	認定試験対策 専門科目編	担当者	樋口 智美	クラス	期 別
				3 IM	前期

1. 教育目標

診療情報管理士認定試験合格

2. 授業内容

- ☒ 講義・演習
- ☒ 小テスト、及びレセプト作成
- ☐ グループワーク・ペアワーク
- ☐ ディスカッション

3. 授業計画

1	検定の概要と説明 自宅での学習	16	医療情報学	16	国勢統計分類 1
2	医療管理総論	17	医療情報学	17	国勢統計分類 1
3	医療管理総論	18	診療情報管理論Ⅰ	18	国勢統計分類 1
4	医療管理総論	19	診療情報管理論Ⅰ	19	国勢統計分類Ⅱ
5	医療管理総論	20	診療情報管理論Ⅰ	20	国勢統計分類Ⅱ
6	医療管理各論Ⅰ	21	診療情報管理論Ⅰ	21	国勢統計分類Ⅱ
7	医療管理各論Ⅰ	22	診療情報管理論Ⅱ	22	国勢統計分類Ⅱ
8	医療管理各論Ⅰ	23	診療情報管理論Ⅱ	23	まとめ
9	医療管理各論Ⅰ	24	診療情報管理論Ⅱ	24	まとめ
10	医療管理各論Ⅱ	25	診療情報管理論Ⅱ	25	まとめ
11	医療管理各論Ⅱ	26	診療情報管理論Ⅲ	26	まとめ
12	医療管理各論Ⅱ	27	診療情報管理論Ⅲ	27	模擬対策
13	医療管理各論Ⅱ	28	診療情報管理論Ⅲ	28	模擬対策
14	医療情報学	29	診療情報管理論Ⅲ	29	模擬対策
15	医療情報学	30	国勢統計分類 1	30	期末試験と解答・解説

4. 評価方法

定期試験 70%

出席率・講義演習態度・小テスト 30%

5. テキスト及び参考書

板書、テキスト（紙媒体）、スライド資料（電子媒体）

診療情報管理士テキスト（日本病院会）

診療情報管理士教育問題集専門1章～12章

6. 実務経験の有無

☒あり （ 経歴 ： 医療事務・医事課・診療録管理部門等の実務経験 ）

7. その他

特記なし

科目名	認定試験対策 専門科目編	担当者	樋口 智美	クラス	期 別
				3 IM	後期

1. 教育目標

診療情報管理士認定試験合格

2. 授業内容

- ☒ 講義・演習
- ☒ 小テスト、及び模擬試験
- ☐ グループワーク・ペアワーク
- ☐ ディスカッション

3. 授業計画

1	医療統計Ⅰ	16	診療情報管理論Ⅲ	31	医療情報学	46	総まとめ
2	医療統計Ⅰ	17	診療情報管理論Ⅲ	32	医療情報学	47	総まとめ
3	医療統計Ⅱ	18	国際統計	33	診療情報管理論Ⅰ	48	総まとめ
4	医療統計Ⅱ	19	診療情報管理論Ⅰ	34	診療情報管理論Ⅰ	49	総まとめ
5	診療情報管理Ⅰ	20	診療情報管理論Ⅰ	35	診療情報管理論Ⅰ	50	総まとめ
6	診療情報管理Ⅰ	21	診療情報管理論Ⅰ	36	診療情報管理論Ⅰ	51	総まとめ
7	診療情報管理Ⅰ	22	診療情報管理論Ⅱ	37	診療情報管理論Ⅱ	52	模擬
8	診療情報管理Ⅰ	23	診療情報管理論Ⅱ	38	診療情報管理論Ⅱ	53	総まとめ
9	診療情報管理論Ⅱ	24	診療情報管理論Ⅱ	39	診療情報管理論Ⅱ	54	総まとめ
10	診療情報管理論Ⅱ	25	診療情報管理論Ⅱ	40	総まとめ	55	総まとめ
11	診療情報管理論Ⅱ	26	まとめ	41	総まとめ	56	総まとめ
12	診療情報管理論Ⅱ	27	模擬対策	42	総まとめ	57	総まとめ
13	模擬解答	28	模擬対策	43	総まとめ	58	総まとめ
14	診療情報管理論Ⅲ	29	模擬対策	44	総まとめ	59	総まとめ
15	診療情報管理論Ⅲ	30	模擬対策	45	総まとめ	60	総まとめ

4. 評価方法

定期試験 70%

出席率・講義演習態度・小テスト 30%

5. テキスト及び参考書

テキスト・演習問題（紙媒体）、スライド資料（電子媒体）

診療情報管理士テキスト（日本病院会）

診療情報管理士教育問題集専門1章～12章

6. 実務経験の有無

☒あり（経歴：医療事務・医事課・診療録管理部門等の実務経験）

7. その他

特記なし

科目名	DB応用	担当者	松浦 友美子	クラス	期 別
				3IM	前期

1. 教育目標

- データベースの設計と構築を学ぶ
- Access ビジネスデータベース技能認定試験 2 級取得

2. 授業内容

- テーブルの正規化・リレーションシップ
- フォームとサブフォーム
- クエリ（選択クエリ・アクションクエリ）
- レポート作成

3. 授業計画

1	テーブル作成・フィールドプロパティ	9	Datediff・Dateserial 関数
2	リレーションシップ 結合の種類	10	Format 関数と書式指定文字
3	選択クエリ	11	問題 1
4	アクションクエリ	12	問題 2
5	フォーム サブフォーム作成	13	問題 3
6	フォームのプロパティ	14	問題 4
7	演算子と関数の活用	15	期末試験
8	IIF・Switch 関数		

4. 評価方法

出席点 30 点
実技点 70 点

5. テキスト及び参考書

Access ビジネスデータベース技能認定試験問題集

6. 実務経歴の有無

☒あり （インストラクターとして企業に勤務）

7. その他

科目名	DB応用	担当者	松浦 友美子	クラス	期 別
				3IM	後期

1. 教育目標

- 実用的なデータベースの設計と構築を身に付ける
- Access ビジネスデータベース技能認定試験 2 級取得

2. 授業内容

- EXCEL・テキストデータの利用・テーブルの正規化
- 入力フォーム・照会用フォーム
- コマンドボタン作成・マクロ
- 帳票作成

3. 授業計画

1	インポートデータを使用したテーブル作成	9	問題 1
2	リレーションシップ 結合の種類	10	問題 2
3	入力フォーム・コマンドボタン作成	11	問題 3
4	帳票作成①	12	問題 4
5	帳票作成②	13	問題 5
6	照会用フォーム作成	14	Access・Excel・Word のデータ連携
7	マクロの作成	15	期末試験
8	マクロとサブマクロ		

4. 評価方法

出席点 30 点
実技点 70 点

5. テキスト及び参考書

Access ビジネスデータベース技能認定試験問題集

6. その他

科目名	Excel VBA II	担当者	井上 伸明	ク ラ ス	期 別
				3IM	前期

1. 教育目標

VBA(Visual Basic for Application)の機能を利用し、より使いやすいマクロを作成するためのプログラミング手法を学習する。VBAを学習することによってExcelでアプリケーションを作成でき、より高度な使用が可能になる。この演習では、シートおよびセルにおける基本操作をVBAで作成できるようになることを目標としている。

2. 授業内容

マクロの基本操作からVBAまで広範囲にわたった演習になるため、Excel操作の基本を修得している前提で授業を進める。福祉、医療現場で即戦力となるプログラミング技術の修得を目指すため、できるだけ現場に即した課題の中でコーディングを理解できるように進めていく。

3. 授業計画

1	数値・書式の操作
2	MsgBox による表示と InputBox による入力
3	VBA 関数とユーザー定義関数
4	セルの操作
5	セルの操作
6	セルの操作
7	セルの操作
8	ワークシートの操作
9	ワークシートの操作
10	ワークシートの操作
11	ワークブックとファイルの操作
12	ワークブックとファイルの操作
13	データベース処理
14	定期試験の模擬演習
15	定期試験

4. 評価方法

課題プログラム(前期試験)によって評価する。

留意事項：授業に対する姿勢も考慮する。

5. テキスト及び参考書(2年次で購入済み)

しっかり学ぶExcelVBA標準テキスト 技術評論者 1,880円(税別)

6. 実務経験の有無

☒ あり (経歴 : 大学・専門学校の学園業務システム等の構築)

7. その他

Excelに限らずOffice統合ソフト(Word Excel PowerPoint Access)のビジネス利用は相当なシェアになっています。福祉、医療現場においても例外ではありません。これは、それぞれのソフト間のデータ連携が非常にスムーズに行われることが大きな要因の一つになっています。

この演習ではソフト間の連携までは進めませんが、実務において利用できるExcelプログラミング技術を修得してもらえるような学習内容となっています。

科目名	医療情報技師受験対策(医学)	担当者	片山 敏克	クラス	期 別
				3IM	前期 (15)

1. 教育目標

医学・医療系の既習の知識を活用して、医療情報技師能力検定試験の問題を根拠を踏まえて理解し、検定試験合格に繋げることができる。

2. 授業内容

授業では、問題集から抽出した過去問題を、配布資料をもとに解答しながら、適宜解説を加えていきます。更に、解答内容の根拠と設問のパターンを確認することで、医療情報技師能力検定試験に備えていきます。

3. 授業計画

1	医学・医療総論
2	社会保障と保険医療制度①
3	社会保障と保険医療制度②
4	医療管理
5	医学①
6	医学②、薬学・看護学①
7	薬学・看護学②
8	小テスト (1)
9	検査・診断①
10	検査・診断②、治療・処置①
11	治療・処置②
12	医療プロセス
13	診療録およびその他の医療記録
14	小テスト (2)
15	試験解説
定期試験	

4. 評価方法

①確認テスト (70%) ②小テスト&出席状況 (30%)

5. テキスト及び参考書

【図書名①】医療情報 第6版 医学医療編

【著者】一般社団法人日本医療情報技学会 医療情報技師育成部会

【出版社】篠原出版新社

【図書名②】医療情報技師 能力検定試験 過去問題・解説集 2021

【著者】一般社団法人日本医療情報技学会 医療情報技師育成部会

【出版社】南江堂

【配布資料】「医療情報技師」のテキストに沿った資料

6. 実務経験の有無

☒ あり (資格・職種 : 看護師(看護管理者研修終了)、健康福祉学修士)

7. その他

項目「医学研究」「医学・医療統計」「臨床データベース」は別途の集中講義で履修します。

科目名	医療情報技師受験対策 (医療情報システム系)	担当者	伊藤 正巳	クラス	期 別
				3IM	前期

1. 教育目標

医療情報技師能力検定試験の取得を目指した試験対策（医療情報システム系）
過去問題等により苦手な部分をピックアップし理解度を深める。

2. 授業内容

テキスト（医療情報（医療情報システム編））を中心に重要ポイントを明確にし、過去問題集により試験対策に特化した授業を行う。

3. 授業計画

1	医療情報の特性と医療情報化		
2	医療を支える情報システムの構成		
3	病院情報システムの機能		
4	病院情報システムの導入		
5	病院情報システムの運用		
6	医療情報分野の標準規格及び標準マスター		
7	関連法規とガイドライン		
8	医療情報技師能力検定試験	過去問題	実施後解説及び補足①
9	医療情報技師能力検定試験	過去問題	実施後解説及び補足②
10	医療情報技師能力検定試験	過去問題	実施後解説及び補足③
11	医療情報技師能力検定試験	過去問題	実施後解説及び補足④
12	医療情報技師能力検定試験	過去問題	実施後解説及び補足⑤
13	医療情報技師能力検定試験	過去問題	実施後解説及び補足⑥
14	医療情報技師能力検定試験	過去問題	実施後解説及び補足⑦
15	試験解答、解説		

4. 評価方法

期末試験結果、授業態度、出席率

5. テキスト及び参考書

医療情報技師能力検定試験 標準テキスト 医療情報（医療情報システム編） 第6版
医療情報技師能力検定試験 過去問題・解説集

6. 実務経験の有無

☒ あり （ 資格・職種 ： 診療情報管理士として病院勤務 ）

7. その他

特になし

科目名	医療情報技師受験対策 (情報処理)	担当者	森 由紀	ク ラ ス	期 別
				3IM	前期

1. 教育目標

医療情報技師が、医療現場のニーズにあった医療情報システムを開発・導入し、適切かつ効率的に運用・管理していくために必要な「情報処理技術」の知識および技能を習得する。

2. 授業内容

テキストを使用し、過去問題を解きながら解説を行う。

3. 授業計画

1	情報の単位、データの表現
2	コンピュータの種類と処理形態
3	情報システムを構成するハードウェア
4	オペレーティングシステム、ミドルウェアとファームウェア
5	プログラミング言語、データ構造とアルゴリズム
6	デジタルデータの型と種類、データの表現形式
7	小テスト
8	データのデジタル化、データ圧縮
9	データベースの役割
10	データベースのモデル
11	関係モデルと関係データベース
12	関係データベースの操作
13	データベースの特性
14	データベースの運用管理
15	まとめ

4. 評価方法

小テスト10点、提出物10点、授業態度10点、テスト70点で評価する。

5. テキスト及び参考書

医療情報技師能力検定試験過去問題・解説集2020

6. 実務経験の有無

☐ あり （ 経歴 ： ）

7. その他

科目名	医師事務作業補助	担当者	樋口 智美	クラス	期 別
				3 IM	後期

1. 教育目標

医師事務作業補助は病院勤務医の事務負担を軽減する体制を評価したものの薬務内容・要件・役割分担について理解する。検定取得のための講義・演習

2. 授業内容

- ☒ 講義・演習
 - ☐ 小テスト、及びレセプト作成
 - ☐ グループワーク・ペアワーク
 - ☐ ディスカッション

3. 授業計画

1	検定試験の概要・個人情報保護法
2	医療関連法規
3	労災保険・自賠保険 公費負担医療・介護保険法
4	ビジネス文書(院内文書と院外文書)
5	院外処方箋・一般診断書の記総方法
6	傷病手当金支給申請書の記載方法
7	保険会社診断書の記載方法
8	医療要否意見書の記載方法
9	入院診療計画書・退院時証明書の記載方法
10	入院・手術・通院証明書・退院時要約の記載方法
11	診療情報提供書の記載方法
12	介護保険主治医意見書の記載方法
13	確認テスト(文書作成)
14	確認テスト(学科)
15	定期試験解答・解説

4. 評価方法

定期試験 70%

出席率・講義演習態度・小テスト 30%

5. テキスト及び参考書

テキスト（紙媒体）、スライド資料（電子媒体）

医師事務作業補助者実務能力認定試験公式テキスト

6. 実務経験の有無

☒ あり （ 経歴 ： 医療事務・医事課・診療録管理部門等の実務経験 ）

7. その他

特記なし

科目名	がん登録検定対策	担当者	松田 まゆみ	クラス	期 別
				3IM	前期

1. 教育目標

院内がん登録実務・初級者認定試験に必要な基本的な知識を習得し、

2. 授業内容

院内がん登録の目的や制度の概要をテキストで学習

標準登録様式の項目やルールを理解し、様式作成を問題集で演習

ICD-O-3、UICCのコーディングの技術を演習。

認定試験に出やすい問題をテキストに沿って解く。

3. 授業計画

1	がんの病態生理
2	がん登録の背景、目的、制度について
3	がん登録の背景、目的、制度について
4	院内がん登録の仕組みについて
5	ICD-O-3の基本構成、局在と形態について
6	5大がんを中心にコーディング演習と解説
7	標準登録様式の各項目のルールについて
8	胃がんの病期分類の解説と演習
9	大腸がんの病期分類の解説と演習
10	肝がんの病期分類の解説と演習
11	肺がんの病期分類の解説と演習
12	乳がんの病期分類の解説と演習
13	サマリー問題を使用して登録演習と解説
14	初級者認定試験の問題を参考にテスト施行
15	テスト解説と間違いやすい点を補足

4. 評価方法

定期テスト：80% 授業姿勢：20%

5. テキスト及び参考書

- ・院内がん登録初級者研修教材
- ・ICD-O-3 3.1 版
- ・UICC TNM 分類 第8 版

6. 実務経験の有無

☒ あり （ 経歴 ：久留米大学病院で院内がん登録業務に従事 ）

7. その他

科目名	学会発表Ⅱ	担当者	野々下みどり	ク ラ ス	期 別
				31M	前期 (10)

1. 教育目標

- 1) 「研究発表」を通じて、仕事に生かせる説得力あるプレゼンテーションができる。
- 2) 診療情報管理士という仕事がイメージできる。

2. 授業内容

研究テーマを深め、発表するための抄録作成や発表資料作り、発表練習を通じ、根拠を持って意見をいうことを実践する。

なお、授業はその時の進行状況によって、柔軟な対応を行う。

3. 授業計画

1・2	抄録作成
3・4	抄録作成・発表資料作成
5・6	発表資料作成
7	発表練習（グループ内）
8	中間発表・発表資料修正
9	最終修正・想定問答集の作成
10	最終発表練習

4. 評価方法

授業態度（遅刻、欠席、居眠り、私語、提出物期限） 50%

抄録、プレゼンテーション資料、発表 50%

5. テキスト及び参考書

適宜、資料を配布する。

6. 実務経験の有無

☒ あり （ 資格・職種 ： 診療情報管理士 指導者
診療情報管理士として病院勤務経験有 ）

7. その他

状況により、時間外の作業が増えてくるためグループで協力する。

科目名	就職指導	担当者	肥後 美佐子	クラス	期 別
				3IM	通年

1. 教育目標

- ・就職試験に向けて、自己理解を深め、履歴書記載・模擬面接・試験問題へ対応する。
- ・社会人になるという自覚を持つことができる。

2. 授業内容

- ・模擬面接にスムーズに入れるように準備を行っていく。
- ・模擬面接開始後は、適性検査、論文作成、試験問題の演習などを行っていく。

3. 授業計画

1	就職の目的と意義	1 6	小論文作成	模 擬 面 接
2	求人票の見方・履歴書記入方法	1 7	小論文作成	
3	自己理解(人生観)	1 8	小論文作成	
4	自己理解(長所・短所・性格)	1 9	SPI	
5	自己理解(学生生活等)	2 0	SPI	
6	模擬面接準備	2 1	社会人としてのあるべき姿	
7	模擬面接準備	2 2	社会人としてのあるべき姿	
8	適性検査	2 3	社会人としてのあるべき姿	
9	適性検査	2 4	個人面談	
1 0	論文の書き方	2 5	個人面談	
1 1	小論文作成	2 6	個人面談	
1 2	小論文作成	2 7	個人面談	
1 3	SPI	2 8	個人面談	
1 4	SPI	2 9	個人面談	
1 5	SPI	3 0	個人面談	

4. 評価方法

- ・課題作成 70%
- ・授業参加態度、出席、提出物 30%

5. テキスト及び参考書

- ・配布資料

6. 実務経験の有無

☒ あり

(資格名：診療情報管理士・ホスピタルコンシェルジュ)

(経歴：診療情報管理部門・医事課統括責任者業務)

7. その他

特記なし

科目名	担当者	クラス	期別
キャリア教育Ⅲ	宮本 恵実子	3IM	3年 前期

1. 教育目的

◎社会人として職業に就き、働き続けていく力を養う。(知識・技能・態度・応用)

- 1.“履歴書”の意義・目的を理解し、作成する。
- 2.面接を通して自己表現をする。
- 3.求人票の項目について知る。
- 4.自身の興味関心について小論文で書き表す。

2. 授業内容

- 5.さまざまなコミュニケーションの形を知り、使うことができる。

3		内容	
1	1期・2期のキャリア教育を振り返り、目標とその到達(自己評価)を確認する。3期の流れと、到達目標を確認し理解の度合いを測る	1	オリエンテーション・GW
2	履歴書の完成と面接について	2	アピール項目を基に面接に対応する
3	就職面接について	3	面接の目的と、質問の意図を理解し、答える(応える)
4	就職面接について		書き表したアピール項目を面接で表現する
5	封筒と添え状の準備について	5	それぞれの書き方を知り、正しく丁寧に書く
6	求人票の見方・給与の仕組みと税金、社会保険	6	講義。求人票を通して税金と社会保険について学ぶ
7	コミュニケーションスキルとは	7	講義およびGW。さまざまなコミュニケーションスキルを考察する
8	コミュニケーションスキル演習	8	講義と演習およびGW。さまざまなコミュニケーションスキルを学ぶ
9	時事問題から持論を展開する	9	演習(調べ学習、考察、レジュメ作成)
10	時事問題から持論を展開する	10	演習(調べ学習、考察、レジュメ作成)
11	時事問題から持論を展開する	11	演習(発表および相互評価)
12	小論文	12	9-11のテーマを小論文にする。参考文献探し、準備、執筆
13	小論文	13	執筆および仕上げ、提出
14	キャリア教育 まとめ『将来像と実践力』	14	3期のキャリア教育を経て、将来像を描く
15	背中にエール	15	やる気の根っこワークより

4. 評価方法

・提出物、ワークに対する取組とグループに対する貢献 70% ・出席状況 30%
(課題について、与えられた時間内で仕上げる事ができる。※期日を守る・毎回の授業で求められることができる)

5. テキストおよび参考資料

未来ノート やる気の根っこ(一般財団法人 職業教育・キャリア教育財団)

教科『職業とキャリア』(一般財団法人 職業教育・キャリア教育財団) その他

6. 実務経験のある教員による授業

キャリアサポーター、キャリアコンサルタント(国家資格)、2級キャリアコンサルティング技能士(国家資格)を有し、企業領域および教育機関におけるキャリア支援等の実務経験

科目名	病院実習（専門）	担当者	樋口 智美	クラス	期 別
				3 I M	前期

1. 教育目標

- 病院実習を通して、実践的な知識と技術について具体的に理解し、実践的な技術を体得する。
- 医療専門職として求められる資質、技能、倫理、自己に求められる課題など、総合的に対応する能力を取得する。
- 関連分野の専門職との連携のあり方、及びその具体的内容を実践的に理解する。
- 社会人としてのマナーなどを磨き、自己発見をする。

2. 授業内容

病院での実務

3. 授業計画

1		人間関係形成力を身に付ける。
	1-1	組織人としての円滑な人間関係の形成ができ、多職種連携を含め、医療専門職やその職能について理解する。
	1-2	診療上管理士の専門的な知識を理解し、実践力を身に付ける。
	1-2-1	診療上管理士の専門的業務である診療録の貸し出し・返却・点検・疾病分類・統計業務などの診療録管理部門業務を経験
	1-3	病院組織（医療専門職の配置や業務内容、多職種との連携など）を理解する。
	1-3-1	多職種連携をはじめとする治療や各支援におけるチームアプローチの実践
2		病院内でのコミュニケーションのあり方を理解する。
	2-1	同職種、多職種とのコミュニケーションを経験する
3		自己理解に繋げる
	3-1	実習日誌を記すことによって、自分の思考過程を客観的に理解し、行動変容に繋げる。
	3-2	実習指導者より、指導や所見を戴くことにより、自らの不足部分を理解し、行動変容に繋げる
4		理想とする診療情報管理士像がイメージできる。
	4-1	診療情報管理士の理想像をイメージでき、それに向けた努力や方法を自身の言葉で説明できるようになる。

4. 評価方法

実習指導者による評価（成績表評価）、日誌内容

5. テキスト及び参考書

スライド資料（電子媒体） 資料（紙媒体） 病院実習要綱
診療情報管理 実習生のためのガイドブック(社会保険研究所)

6. 実務経験の有無

☒ あり （ 経歴 ： 医療事務・医事課・診療録管理部門等の実務経験 ）

7. その他

特記なし